

情報交差点・心と心の交わり

あじま〜

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

祝 3連覇 大宜味結 Guts



第138回沖縄県学童軟式野球大会 北部支部北・辺土名ブロック大会 優勝

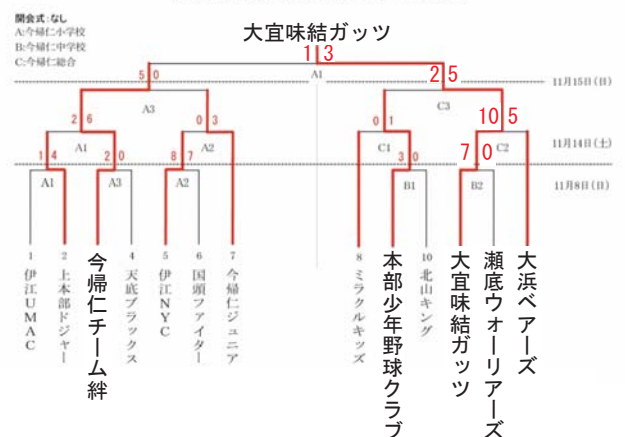
11月8日（日）、14日（土）、15日（日）に今帰仁小学校、中学校、今帰仁村総合運動公園で開催された第138回沖縄県学童軟式野球大会 北部支部北・辺土名ブロック大会に大宜味結 Guts が出場しました。瀬底ウォーリアーズと対戦した1回戦では均衡する試合の中、6年生の島袋恭輔君がレフト線を破る2ランホームランを放ち、チームにいい波を。この勢いそのまま決勝戦まで勝ち進み、優勝。2月、7月の大会に続き見事3連覇を成し遂げ、県大会出場の切符を手に入れました。

殊勲選手賞（最優秀選手賞）には6年生の花田琉空くん、打撃賞に6年生の平良栄棋くんが選ばれ、個々の活躍も光りました。

今年はコロナ禍の影響で大会や練習試合が開催できないこともあり、例年に比べ力を試す場が減ってしまいましたが、それでも日々自分たちのできる練習やトレーニングを着々とこなしてきた結 Guts のメンバー。練習後や練習日以外にも近くのグラウンドで個々にトレーニングする姿も見られました。

県大会は12月26日（土）から28日（月）に中部地区の会場で開催され、県内18支部から選抜された32チームで頂点を目指します。県No.1を目指して頑張れ！大宜味結 Guts！

第138回 北部支部北・辺土名ブロック大会



もしもの時に備えて…落ち着いて素早く避難 こ・小・中 地震津波避難訓練

11月5日（木）、おおぎみこども園、大宜味小学校・中学校で地震・津波避難訓練が行われました。地震後津波が来たことを想定しての今回の訓練。小学校、中学校では安全の確認が取れた後、外へ。その後避難階段を使って安全な場所まで避難しました。きつい登りでしたが、静かに淡々と登る児童生徒たち。中学生は避難広場（海拔34m）まで6分25秒（点呼含む）、小学生はみのりまで全員集合するまで26分（先頭は17分40秒）で避難することができました。

こども園では初めての園外への避難も含む避難訓練。0歳から2歳児は車とバスを使って、3歳児はローソンまで歩き、ローソンからバスで、4歳、5歳児はこども園からローソン前で58号線を渡り、エーガイ線を歩いて避難広場に集合しました。初めての園外への避難ということもあり、時間はかかってしまいましたが、実際に避難広場まで行くことで今まで見えなかった点や改善点も見え、次に活かせる避難訓練となりました。



あんな色!? こんな模様!? 身近な植物を使って染め体験 簡単草木染め

11月14日（土）、旧大宜味小学校家庭科室において、ぶながやの里生涯学習講座「簡単草木染め」が行われました。

植物を使って布を染める草木染め。今回は身近にあるフクギ、ゲットウ、シャリンバイの3種類の植物を使用しました。

まずは材料となる植物集め、3つの班に分かれて植物を採集します。

採集した植物は洗って鍋に入るサイズに細かく切り水を加えて火にかけます。沸騰してから30分煮出したら染め液の完成。待っている間に布の準備。ビー玉や輪ゴム、割りばしを使って模様作り。どんな模様ができるかは染めてからの楽しみ♪今回はみょうばん先媒染（先にみょうばん液に浸け、その後染め液に浸ける）を行いました。

布が染め終わり、いよいよ輪ゴムを外す時…。ここでそれぞれの模様が明らかに。見事、丸や四角、ストライプの模様ができました。

身近な植物を使って簡単にできる草木染め。材料も道具も簡単に揃えることができ、色々な植物で試すことで新たな発見もできます。ぜひ、おうちでも試してみてください。



栄養満点！楽しく作って、おいしくいただく♪ CODOMO'Sキッチン



11月6日（金）、旧大宜味小家庭科室においてぶながやの里生涯学習講座「CODOMO'Sキッチン」が開催されました。

今年はコロナウイルスの影響もありなかなか開催できなかった生涯学習講座。久々の開催第1号目は栄養バランスを考えながら、簡単においしい料理を子ども達で作っちゃう調理実習です。

この日のメニューはごはん、アーサ汁、鶏むね肉の照り焼き、サバ缶サラダ、サバ缶とクリームチーズのリエット。鶏むね肉の照り焼きはメジャーリーグで活躍している大谷翔平さん考案のレシピです。

講師に役場住民福祉課の宮城伸子さん、島袋経子さんを迎え、まずは先発隊の1～3年生がご飯と、アーサ汁の準備。こぼさないように米をといたり、慣れない包丁で豆腐を細かく切ったり、1つ1つの作業を丁寧に行いました。



4年生が到着してからは体や脳を動かすために食べることが大事だということ、赤、黄、緑動きを知り、バランスよく栄養をとることの大切さを教えてもらい、照り焼きを始めとするおかずを作り開始。今度は包丁だけでなく、火も使う作業。手を切る子はいないか、やけどをする子はいないかいとドキドキしていましたが、みんな器用に（ちょっと逃げ腰？）作業をすすめ、オレンジママレードの香りが効いた鶏むね肉の照り焼き、サバ缶丸ごと1缶使ったおしゃれなサラダ、サバ缶とクリームチーズの相性抜群のリエットが完成。

ごはん、アーサ汁もあわせ、一汁三菜の栄養満点豪華メニューとなりました。

自分たちで作った料理はどれも美味しく、楽しい夕食をとることができました。みんな大満足♪

サラダで使用したブロッコリースプラウト、豆苗、カイワレ大根は村上農園さんが、彩りを添えてくれたハンダマは謝名城の前田智子さん、大兼久の新城寛成さんが提供してくれました。みなさんの協力のおかげで見た目もよくおいしいサラダになりました!! ありがとうございます!



中学生の目線で疑問を投げかける… 令和2年度大宜味村子ども議会



11月12日（木）、大宜味村議会場において令和2年度大宜味村子ども議会が開催されました。今年で3回目となる子ども議会。

今回は大宜味中学校1～3年生の12名が議員として選出され、以前から議題に出していた「通学路の街灯設置」や「信号機の設置」、「結の浜公園のごみ箱の設置」への再確認と要望や、新設された「ビジターセンターの利用費」や「新型コロナウイルスの対策」、「ビジターセンター前の海岸の活用」について村の考えを問いただすもの、「避難路の管理について」、「防災無線のスピーカーの新たな設置」、「児童生徒へ1人1台のipadの支給」、「学校と村のネット環境の整備」といった新たな要望など中学生の目線で見た村の課題を討論。

質問には副村長や教育長を始め、各課の課長が答弁し、子ども議員の良く考えられた鋭い質問に率直に答えていました。

議会の詳細については、後日発行される子ども議会だよりをご覧ください。



安里満帆 議長



大城璃来 議員



宮城泰斗 議員



金城克勇 議員



宮城心美 議員



高江洲愛 議員



川村波 議員



宮城はち 議員



宮城琉一斗 議員



宮本大雅 議員



島袋愛埜 議員



山城果林 議員

読書の秋… 自分の一品を見つけ出す 県立移動図書館

10月31日（土）、県立移動図書館が旧大宜味小学校の多目的教室にて開催されました。

今回はハロウィン特集や沖縄本、児童書など800冊以上の本が用意されました。

今年はコロナウイルス感染症対策を講じながらの開催となりましたが、当日は家族で来館している様子も見られ、来館人数40名、合計263冊の本が貸し出されました。また、隣の会場では、OIST（沖縄科学技術大学院大学）による不思議な工作コーナーを開催し、大人から子どもまで不思議な工作を体験していました。



なお、県立図書館の本は旧大宜味小2階の大宜味村図書室でも借りることができるので、ぜひ利用してみてください。

周りと違ってもいい 自分らしくを大切に… 大宜味小・中学校でLGBT講演会



11月4日（水）大宜味小学校・中学校においてレインボーハートプロジェクト okinawa の竹内清文さんを招き、講演会『LGBT・性の多様性』～周り違って大丈夫～ が開催されました。

小学校低学年、高学年、中学生の3回に分けてそれぞれで行われた講演会。

今年はコロナウイルスの影響でなかなか開催できないが、これまで年間130回講演をおこなってきており、今回の大宜味小が213校目、中学校が

214校目だという竹内さん。

自身の経験やLGBTの人たちが悩んでいること、困っていることを話し、周りの理解があることで助けられると教えてくれました。

竹内さんは「男らしく、女らしくでは『自分らしく』を大切にしてほしい。好きなものは一人一人違うのだし、違うから助けあえる。一人一人にいいところがある。周り違っていても大丈夫」と伝えてくれました。

楽しくわかりやすい表現でLGBTのことを教えてくれる竹内さん。

6年生の藤田大洋さんは「周り違う人がいても大切にすること、自分らしさの大切さを教えてくれてありがとうございます。今日話を聞いて自分らしく生きていきたいと思った」と話し、中学2年生の宮城琉一斗さんは「LGBTの人がこんなにたくさんいること、苦しんでいること知った。自分の周りにもいるのかなと思った 自分らしく生きていける力を持ちたい。貴重な話をありがとうございます。これからの生活に活かしたい」と感想を述べました。講演会には保護者や役場の関係者も参加。大人も大いに学べる内容で貴重な時間を過ごすことができました。竹内さん、ありがとうございます。



高校生の手で村を明るく 辺土名高校地域クリーンアップ作戦

11月10日（火）、辺土名高校生による第24回地域クリーンアップ作戦が行われました。

全校生徒で学校周辺の清掃活動を行い、地域の自然環境について考えるきっかけ作りと清掃活動を通して自然を大切にすることを養い、持続可能な社会づくりにかかわる機会を目的として行われたこの作戦。

1年生は学校裏にある安里屋付近から饒波川沿いと学校校門周辺、2年生は喜如嘉海岸、3年生は大兼久の中道と海岸で清掃活動を行いました。

饒波川沿い担当の1年2組。河川敷にあるペットボトルや発泡スチロールなど上からゴミを見つける人、ゴミを拾う人と役割を分担しながら作業を進めていきました。

1時間あまりの清掃活動でおおよそ20袋（45ℓゴミ袋×20）のゴミを拾うことができ、海岸沿いや学校周辺をきれいにすることができました。

1年生の知念珠里亜さんは「思ったよりゴミの量は少なかったけど、ペットボトルが多く、こんなに



落ちていたとは思わなかった。ゴミ拾いをして少し見目がよくなったかな」とはにかみました。

きれいな川、海岸になってとても気持ち良く嬉しいです。辺土名高校生のみなさん、ありがとうございます！！



完全に乾くと破れやすくなるので7割方乾かし、交互に斜め方向に手で引き伸ばし、布幅を出していきます。作業名は“ちまんく”。
〔写真左〕シークワサー洗い。風通しのよい屋外に干しました。
〔写真右〕ユナジ洗い。室内で扇風機を当てながら乾かしました。

再び斜め、横にひっぱり丁寧に形を整えていく。力加減によっては破れることもあり熟練が求められる作業。



〔写真左〕芭蕉布を等分にたたむ。〔写真中央〕湯飲み茶碗のへりを使い、布を縦、横、斜めにこすって布面を平らに整える。この作業を“しゅくるす”と言うそうです。この作業により皺がとれ布が柔らかくなります。
〔写真右〕シークワサーで洗った反物用の芭蕉布の両端を引っ張り合い、丈を出し、きれいにたたみます。



芭蕉布をイグサのゴサにはまみ、体重と体温でプレスします。プレスの間に美恵子さんから芭蕉布の歴史や平良敏子さんについて色々な話を伺い、ミミグッスイしました。



洗い上がりがこちら！
左 ユナジ洗い 右 シークワサー洗い



▲シークワサーで衣服を洗う沖縄の女性。
〈1945年8月10日撮影・沖縄県公文書館所蔵〉

まとめ

シークワサーで洗った芭蕉布は特別白くなったとか手触りが変わったということは無かったので、約40年ぶりの洗濯ということもあり、すっきりさっぱり、パリッとした洗い上がりを感じられました。一方でユナジは、芭蕉布を漂白し、滑らかな手触りにする効果があるということで、織りあがった芭蕉布の仕上げとして、また、祭祀用の芭蕉布衣装の洗濯などに現在も使用されており、今回の洗濯でも白くしとりと仕上がりました。

大宜味村史『人と自然編』専門部会・部会長の当山昌直氏によると、「シークワサーを使った洗濯の話は大宜味村以外の市町村でも採取されている。汚れを落とすというより、くたびれた布を再生させるため、数年に一度やっていたようだ」とのことでした。また、平良美恵子さんによると「芭蕉布は夏のシーズンの終わりに洗濯をした。汚れを落とすのは石けんや灰汁を使う。野良着などは着たまま川にザブンと入り、体と一緒に洗ったと聞いた。」とのことでしたので、ひとくちに芭蕉布の洗濯と言っても、野良着・普段着・晴れ着・販売用などの着物の用途に合わせ、目的に沿った洗濯液を選んで使っていたのか、はたまた、地域によって差があったのか等、今後も調べてみようと思いました。全面的にご協力いただいた平良美恵子さん、宮城涼子さん、本当にありがとうございました。お二方のおかげで再現することができ、貴重な記録をとることができました。感謝です！！



村史編さんだより

第116号 2020年12月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

再現！シークワサーを使った芭蕉布の洗濯



戦前は村内の多くの家庭に機織り機があり、自家用として芭蕉布が織られていました。芭蕉布の洗濯は、米を発酵させて酢にした“ユナジ”を使うのが主流とのことですが、『人と自然編』の聞き取り調査では、ユナジの他に、昔はカタバミ（植物）を煎じたもの、芋を発酵させたもの、酸味が強い時期に収穫したシークワサーを使った、などという声も多く聞かれました。

『沖縄大百科事典』（沖縄タイムス社）でシークワサーの項目を見ると、【シー（酢）クワ（食べさせる・与える）シャー（者・果）として、即ち植物繊維のアク抜き用の酸または酢の代用として用いられたためシークワサーと名付けられている】と記載されており、聞き取りでもそういった声が複数あったので、今回、シークワサーを使った芭蕉布の洗濯を再現し、その記録を村史に残したい！という思いで計画しました。

しかし、“シークワサーで洗濯”と言っても、文書でほとんど記録されていないので手順が分からない、ましてや芭蕉布と言えば貴重で高級品…と不安もあったのですが、喜如嘉芭蕉布事業協同組合・理事長の平良美恵子さん、組合員の宮城涼子さんのご協力のもと、経験者の体験談を参考に再現することが出来ました！！

洗濯の手順、実際の作業は、芭蕉布に精通した美恵子さん、涼子さんにおこなっていただきました。経験者によると、洗濯をしたのは何月だったか覚えていないが、屋敷内に生えているとても小さくて青いシークワサーの実を使ったとのことでした。今回、田嘉里で11月中旬に収穫された少し色づき始めたシークワサー12kg（コンテナの約半分）の絞り汁を使用しました。ph試験紙で計るとユナジと同じPh3.0でした。作業の手順を写真で報告していきたいと思います。



今回はシークワサーとユナジ、それぞれを使い洗濯しました。
【写真左】シークワサーで洗濯する芭蕉布。60年程前に喜如嘉の金城ナベさん（カネモトグラー）によって織られた着物用の反物。ナハグー。重さ約600g（個人保管）
【写真右】ユナジで洗濯する芭蕉布。30年程前に織られた帯用の生地。ナハウー。重さ約350g（個人保管）



シークワサーを半分に切り、汁を搾り、同量の水を加えます。あたり一面シークワサーの良い香りが漂っています♪



シークワサーとユナジ、それぞれに芭蕉布を浸し、やさしく揉み洗います。
〔写真左〕奥がシークワサー。約30分浸しました。
〔写真右〕ユナジ。芭蕉布工房では2時間浸すそうですが、今回は初めて洗濯する布ではないということから1時間浸しました。



芭蕉布を水ですすぎ、きれいにたたみ、タオルに包んで脱水。その作業を2回繰り返します。



「しまふとうば」ぬくとう 59



「うぬめーぬじゅうごにちねーなぐぬしみんかいかんていくんがんちくちゅうがっ
 こうそうごうぶんかさいがあいてーとうみーがいじゃしがわけーしまぬわらびたーや
 ちびらーはいたん。しみんかいかんぬまぎはいぬほーるんていぶたいはっぴょうぬあいたしがう
 ぬはっぴょうややんばるぬあまふまぬがっこうからじゅうはちぬはっぴょうぬあいたん。うぬ
 じゅうはちぬなかねーわーけーしまぬちゅうがっこうからやいちちいじといたん。じゅうはちぬ
 なかぬいちちえーれーみーちぬうちぬていーちやおおぎみちゅうがっこうからいじゃつぬばー
 えっとうがっこうぬんわらびたーやうみきちきばとうん。うぬいちちや「リコーダーえんそう」「せ
 いとかいふれせんてーしょん」「そうさくだんす」「リゆうきゆうぶようぬはとうまぶし」「し
 まい」えったしがむるちびらーはいたん。わらびたーやうみきちはまていなれーていせんせいたー
 んはまていなれーちゃらはじでいうむたん。でいかついたんどーおおぎみちゅう。」

上記は、さーむにー（塩屋のことば）のひらがなだけで書きましたが、読めて、理解ができたか？今日的な課題として「しまくとうば・しまふとうば」の表記方法が色々と模索されています。

ローマ字表記、或いは漢字表記等が考えられていますが、書く・読む「しまくとうば・しまふとうば」を考えていきましょう。

ちなみに上記に漢字を入れると大体の意味が理解できると思います。

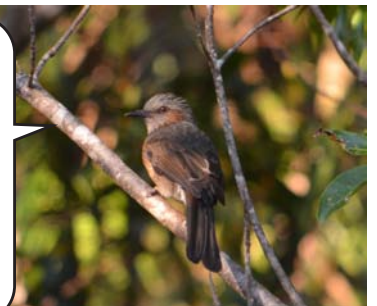
「うぬ前の15日に名護ぬ市民会館てい、国頭地区中学校総合文化祭があいてーとい 見ーが
 行じゃしが、大宜味村ぬ童達やちびらーはいたん。市民会館大ホールてい舞台発表ぬあいたしが、
 うぬ発表や山原ぬ彼方此方ぬ学校から18ぬ発表ぬあいたん。うぬ18ぬ中ねー我ーけシマぬ中
 中学校からや、5ち出じといたん。18ぬ中ぬ5ちえーれー、3ーちぬ内ぬ1ちや大宜味中学校か
 ら出じゃつぬばーえっとう、学校ぬ童達ーやうみきち気張とうん。うぬ5ちや「リコーダー演
 奏」「生徒会プレゼンテーション」「創作ダンス」「琉球舞踊 鳩間節」「獅子舞」えったしが、
 全部ちびらーはいたん。童達やうみきちはまてい習れーてい、先生たーんはまてい習えーちゃら
 はじでい思たん。でいかついたんどー大宜味中。」

今月の生きもの

ヒヨドリ：ヒヨドリ科

こんにちは♪私、ヒヨドリです。沖縄にも一年中ずっと見られる留鳥のリュウキュウヒヨドリというヒヨドリがいますが、私たちは別亜種です。冬は沖縄で過ごそうとはるばる内地から渡ってきました。

北海道から渡ってくることもあるんです。リュウキュウヒヨドリと違い私たちは灰色が強く見えます。しかもちょっと大きい。そして強い。だから、餌場を奪ってしまうことも…。私たちがたくさん渡ってくる年はミカンの被害が多いとも言われています。だって冬の沖縄って魅力的なんだから



12月の行事予定

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1日（火）区長会 | 19日（土）県中学校総合文化祭
おきなわ地域教育の日 |
| 3日（木）（小）授業参観・持久走大会 | 20日（日）家庭の日・ファミリー読書 |
| 4日（金）（園）保育参観（作品展・クラス発表会） | 24日（木）定例教育委員会議 |
| 5日（土）（中）テニス地区新人 ～6日 | 25日（金）2学期終業式（園小中） |
| 16日（水）（小）学級保護者会 | 26日（土）（中）野球KBC杯 ～28日 |
| 17日（木）交通安全シークワサー作戦 | 28日（月）官公庁仕事納め |
| 18日（金）少年を守る日 | 31日（木）大晦日 |

12月15日



観光バス記念日